

# 神奈川県希少淡水魚生息状況 - (平成6～8年度)

勝呂尚之・安藤 隆・戸田久仁雄

An Endangered Freshwater Fishes of Kanagawa Prefecture -

Naoyuki SUGURO\*, Takashi ANDO\* and Kunio TODA\*

## ABSTRACT

In order to clarify the distribution of an endangered freshwater fishes of Kanagawa prefectuer, a fish collection survey was conducted from May 1994 to March 1997 at total of 122 locations on 15 river systems.

Throughout the survey area, 18 families and 50 species were collected ; Tama River System, 1 family and 1 species, Turumi River System, 4 families and 11 species, Ooka River System, 2 families and 5 species, Nameri River System, 5 families and 12 species, Goudo River System, 7 families and 8 species, Sakai River System, 5 families and 13 species, Hikiji River System, 5 families and 8 species, Sagami River System, 12 families and 34 species, Kaname River System, 10 families and 25 species, Nakamura River System, 3 families and 13 species, Sakawa River System, 11 families and 28 species, Haya River System, 5 families and 13 species, Siraito River System, 4 families and 9 species, Niizaki River System, 5 families and 10 species, Chitose River System, 4 families and 7 species.

An endangered species in the prefectuer, *Lethenteron reissneri*, *Acheilognathus typus*, *Lefua echigonia*, *Pseudobagrus tokeinsis*, *Liobagrus reini*, *Oryzias latipes*, *Eleotris oxycephala*, *Cottus kazika* and *Cottus pollux* were collected.

## 緒 言

神奈川県には、東は多摩川から西は千歳川まで、多くの河川や湖沼が存在し、多様な水域が展開している。しかし、最近の急激な都市化に伴う水量の減少、水質の悪化、河川改修による堰や護岸の設置等による環境の変化は、淡水魚の生息域を直撃した。神奈川県版レッドデータブック<sup>1)</sup>によれば、絶滅危惧種は15種にも及び、ミヤコタナゴ *Tanakia tanago* やヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* のように、県下の自然水域からその姿を消してしまった種さえいる。

神奈川県水産総合研究所内水面試験場(以下、当該と言う。)では、絶滅に瀕した希少魚を保護し、健全な内水面生態系の復元を目的とした調査研究に取り組んでいる。その内容は、希少種の分布・生態調査、飼育下における希少種の飼育・増殖技術の確立および自然水域における生息地復元研究である。今回、その分布調査結果の一部について報告する。なお、本調査と同時期に実施した魚類調査の

うち、平成5～6年度に実施した丹沢山塊における調査結果<sup>2)3)</sup>と平成6年度に相模川支流で実施した調査結果<sup>4)</sup>については別途、県淡水魚増殖試験場報告に掲載済である。また、各河川における魚類相の詳細や変動、過去の資料との比較等については、各河川ごとに別途報告する。

## 調査方法

### 調査地点

多摩川、鶴見川、大岡川、滑川、神戸川、境川、引地川、相模川、金目川、中村川、酒匂川、早川、白糸川、新崎川、千歳川の15水系において魚類調査と環境調査を行った。調査地点は、多摩川水系1地点、鶴見川水系4地点、大岡川水系1地点、滑川水系3地点、神戸川水系3地点、境川水系12地点、引地川水系3地点、相模川水系42地点、金目川水系17地点、中村川水系7地点、酒匂川水系24地点、早川水系3地点、白糸川水系1地点、新崎川水系2地点、千歳川水系1地点の合計123地点である。調査河川と調査地点について第1図に示した。



表 1 - 1 神奈川県希少淡水魚生息状況・地点別採集魚

採集地点	河川名	調査年月日	採集魚種
多摩川水系 st. 1	三沢川支流	95. 9.26	ホトケドジョウ
鶴見川水系 st. 2	ため池	95.10.15	モツコ、トウヨシホリ、(アメリカザリガニ、ヌカヒ)
st. 3	ため池	94. 5.10 ~96. 1.18	モツコ、クモクモ、セニナコ、タイリクバラタナコ、キンノナ、トウヨシホリ、(アメリカザリガニ、スジエビ、ヌカヒ) (調査日数 20 日間)
st. 4	奈良川	95.10.17	ドジョウ、(アメリカザリガニ)
st. 5	支流	95. 9.26	アブラハヤ、モツコ、キハチ、ホトケドジョウ、(アメリカザリガニ、カニナ)
大岡川水系 st. 6	大岡川	96. 9.21	アブラハヤ、モツコ、シマトジョウ、ドジョウ、ホトケドジョウ、(アメリカザリガニ)
滑川水系 st. 7	太刀洗川	95. 9.14	シマヨシホリ、スミウキコリ
st. 8	滑川	95. 9.14	アユ、オイカワ、コイ、キンノナ、ブルキル、シマヨシホリ、ヌマチチブ、ホウスハヒ、(テナガエビ、モクスガニ)
st. 9	滑川	95. 9.14	ウナギ、アユ、オイカワ、モツコ、シマヨシホリ、ヌマチチブ、マヒヒ、(テナガエビ、モクスガニ)
神戸川水系 st.10	二俣川支流	96. 5.21	シマヨシホリ
st.11	二俣川支流	96. 5.21	ホトケドジョウ、シマヨシホリ、(アメリカザリガニ、モクスガニ、カニナ)
st.12	神戸川	96. 5.21	ウナギ、アユ、ススキ、ホウ、セシホラ、ホラ科、コチ
境川水系 st.13	大地沢	95. 6.27 95.12.15	アブラハヤ、シマトジョウ、カシカ (調査日数 2 日間)
st.14	本沢	95.12.15	ホトケドジョウ (ヤマアガエ)
st.15	境川	95. 6.27	ウナギ、ウグイ、アブラハヤ、シマトジョウ、ホトケドジョウ、トウヨシホリ
st.16	境川	95. 6.27	オイカワ、アブラハヤ、フナ属、ドジョウ
st.17	境川	95.12.15	アブラハヤ、キンギョ、ドジョウ、シマトジョウ、(アメリカザリガニ)
st.18	境川	95.12.15	アブラハヤ、キンノナ、ドジョウ、シマトジョウ、(アメリカザリガニ)
st.19	穴川	95. 6.27	アブラハヤ、キンノナ、シマトジョウ、ホトケドジョウ
st.20	小松川	95.10. 5	ホトケドジョウ (ウツガニ)
st.21	ため池	95.12. 1	モツコ、(アメリカザリガニ、ヌカヒ、ウツガエビ幼生)
st.22	イタチ川支流	95.12. 1	アブラハヤ、(アメリカザリガニ、ヌカヒ)
st.23	イタチ川支流	96. 1.30	フナ属、ドジョウ、ホトケドジョウ、(アメリカザリガニ、カニナ)
引地川水系 st.24	引地川	94. 8.17	コイ、(アメリカザリガニ)
st.25	支流 1	96. 1.17	ドジョウ、ホトケドジョウ、(アメリカザリガニ)
st.26	わんど	96. 1.30	モツコ、コイ、フナ属、メダカ、カダヤシ、トウヨシホリ、(アメリカザリガニ、テナガエビ)
相模川水系 st.27	連行沢	96. 7.24	ヤマメ、アブラハヤ
st.28	沢井川	96.12.11	ヤマメ、アブラハヤ、シマトジョウ
st.29	沢井川	96.12.11	ヤマメ、アブラハヤ、シマトジョウ
st.30	沢井川	96. 8. 8	ウナギ、ヤマメ、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、アカザ、トウヨシホリ、(スジエビ、サワガニ、ツチガエ)
st.31	沢井川	96. 7.24	ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、シマトジョウ、アカザ、トウヨシホリ、ウキコリ、(スジエビ)
st.32	綱子川	97. 1.21	ヤマメ、アブラハヤ、カシカ
st.33	秋山川	97. 1.21	ヤマメ、ウグイ、アブラハヤ、シマトジョウ、(ヤマアガエ)
st.34	秋山川	96. 8. 8	ヤマメ、オイカワ、カラムツ、ウグイ、アブラハヤ、シマトジョウ、アカザ、トウヨシホリ、(ヤマアガエ)
st.35	秋山川	97. 1.21	ヤマメ、オイカワ、カマツカ、トウヨシホリ、(スジエビ)
st.36	阿津川	95. 8.16	アブラハヤ
st.37	阿津川	95. 8.16	アブラハヤ、キンギョ
st.38	阿津川	95. 8.16	ヤマメ、アブラハヤ
st.39	青山川	96. 7.24	ウナギ、アユ、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、シマトジョウ、トウヨシホリ、ヌマチチブ、ウキコリ、(スジエビ、ウツガニ)
st.40	道志川	96. 7.24	スナヤメ、ウナギ、アユ、オイカワ、イトモコ、ニコイ、シマトジョウ、アカザ、トウヨシホリ、ヌマチチブ、ウキコリ、カシカ

\*目視による確認

表1 - 2 神奈川県希少淡水魚生息状況・地点別採集魚

採集地点	河川名	調査年月日	採集魚種
相模川水系			
st.41	串川支流	95. 8.16	ウナギ、アブラハヤ、カヅカ
st.42	葦尾根沢	95. 8.16	アブラハヤ
st.43	葦尾根沢	95. 8.16	アブラハヤ
st.44	串川	95. 8.16	ウナギ、ウグイ、アブラハヤ、コイ、シマトシヨウ、トウヨシノホリ
st.45	相模川	95.12.12	スヤツメ、オイカワ、アブラハヤ、カマツカ、キンツナ、シマトシヨウ、トウヨシノホリ、ヨシノホリ属、カヅカ、 (アメリカザリガニ、ヌカエビ、スジエビ)
st.46	相模川	96. 5.31	オイカワ、タイリクハ、ラタナゴ、トシヨウ、ブルキル、シマヨシノホリ、ヌマチチブ、ウキゴリ、 (アメリカザリガニ、ヌカエビ、スジエビ)
st.47	八瀬川	96. 6. 7	オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、キンツナ、トシヨウ、シマトシヨウ、(アメリカザリガニ)
st.48	八瀬川	96. 3. 6	ニジマス、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、モツゴ、タモロコ、キンツナ、カマツカ、トシヨウ、シマトシヨウ、ナマス、(アメリカザリガニ)
st.49	道保川	96. 6.21	モツゴ、トシヨウ、シマトシヨウ、(アメリカザリガニ、ヌカエビ)
st.50	道保川	96. 6.21 ~97. 3.18	スヤツメ、アブラハヤ、トシヨウ、シマトシヨウ、(アメリカザリガニ、ヌカエビ、カニナ) (調査日数 3 日間)
st.51	道保川	96. 6.21 ~97. 3.18	スヤツメ、アブラハヤ、トシヨウ、シマトシヨウ、ホトケドシヨウ、(アメリカザリガニ、マシジミ、カニナ) (調査日数 3 日間)
st.52	道保川	95.12.12 ~97. 3.18	スヤツメ、アブラハヤ、トシヨウ、シマトシヨウ、ホトケドシヨウ、(アメリカザリガニ、マシジミ、カニナ) (調査日数 3 日間)
st.53	道保川	95.12.12	スヤツメ、アブラハヤ、トシヨウ、トウヨシノホリ、(ヌカエビ)
st.54	鳩川	96.12.10	モツゴ、フナ属、トシヨウ、(アメリカザリガニ、スジエビ)
st.55	鳩川	96.12. 3	キンツナ、トシヨウ、(アメリカザリガニ)
st.56	鳩川	96.12.10	モツゴ、コイ、フナ属、トシヨウ、(アメリカザリガニ、スジエビ)
st.57	鳩川	96.12. 3	モツゴ、コイ、トシヨウ、(アメリカザリガニ)
st.58	鳩川	96.12.10	アブラハヤ、モツゴ、コイ、フナ属、トシヨウ、(アメリカザリガニ)
st.59	鳩川支流	96.12.10	ホトケドシヨウ、(サウガニ)
st.60	布川	96.12. 2	ニッコウイワナ、ヤマメ、ウグイ、アブラハヤ
st.61	塩水川	97. 1.29	ニッコウイワナ、イワナ属、ヤマメ
st.62	宮沢	96. 9. 5	ニッコウイワナ、ヤマメ
st.63	中津川	96. 9. 5	(モクスガニ)
st.64	南沢	96. 9. 5	ヤマメ
st.65	南沢	96. 9. 5	ヤマメ、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、シマトシヨウ
st.66	相模川	96. 6.17 96. 7. 2 96. 5.23	ウナギ、オイカワ、カワナゴ、シマヨシノホリ、ヌマチチブ、ウキゴリ、ミミズハセ、カマキリ、(モクスガニ、マルタニシ) (調査日数 2 日間) トシヨウ、(アメリカザリガニ)
st.67	小出川	96. 5.23	トシヨウ、(アメリカザリガニ)
金目川水系			
st.68	金目川	95.12.18	ニジマス、ヤマメ、アブラハヤ、オオヨシノホリ、(ヤマアカガエル)
st.69	金目川	96.11. 6	ヤマメ、アブラハヤ、オオヨシノホリ
st.70	延際川	96.11. 6	アブラハヤ、フナ属、ホトケドシヨウ
st.71	金目川	96.11. 6	アブラハヤ、ホトケドシヨウ、(アメリカザリガニ)
支流			
st.72	葛葉川	96.11. 6	アブラハヤ
st.73	金目川	95.12.18	オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、シマトシヨウ、シマヨシノホリ
st.74	室川	95. 8. 2	なし
st.75	座禅川	95.12.18	オイカワ、タモロコ、モツゴ、コイ、キンツナ、キンツナ、フナ属、トシヨウ、シマトシヨウ、(アメリカザリガニ)
st.76	鈴川	95. 7.19	ヤマメ
st.77	鈴川	95. 7.19	ヤマメ、コイ、ヨシノホリ属、カヅカ(カニナ)
st.78	鈴川	95. 7.19	ヤマメ、オイカワ、アブラハヤ、キンツナ、トシヨウ、ホトケドシヨウ、トウヨシノホリ
st.79	鈴川	95.12.18	オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、タモロコ、コイ、キンツナ、キンツナ、フナ属、シマヨシノホリ、(アメリカザリガニ)
st.80	浜田川	95. 7.19	アブラハヤ
st.81	浜田川	95. 7.19	アブラハヤ、モツゴ、コイ、キンツナ、ホトケドシヨウ、(アメリカザリガニ)
st.82	金目川	96. 6.12	ウナギ、アユ、オイカワ、タモロコ、コイ、キンツナ、フナ属、トシヨウ、シマトシヨウ、ナマス、ヌマチチブ、ヨシノホリ属、(モクスガニ)
st.83	金目川	96. 6.12	ウナギ、アユ、オイカワ、キンツナ、フナ属、トシヨウ、ホラ、カワナゴ、シマヨシノホリ、スミキゴリ、(テナガエビ)
st.84	金目川	96. 6.12	ウナギ、アユ、オイカワ、ウグイ、キンツナ、フナ属、ホラ、セシシホラ、ホラ科、スズキ、ヌマチチブ、アジシロハセ

表 1 - 3 神奈川県希少淡水魚生息状況・地点別採集魚

採集地点	河川名	調査年月日	採集魚種
中村川水系			
st. 85	中村川	95. 7. 11	(ウツガニ、ヤマカガエ)
st. 86	中村川	95. 7. 11	なし
st. 87	中村川	95. 7. 11	オカワ、アブラハヤ、タモコ、フナ属、トシヨウ、シマトシヨウ、ホトケトシヨウ、シマヨシホリ、ヨシホリ属、(アメリカザリガニ)
st. 88	中村川	95. 7. 11	オカワ、アブラハヤ、タモコ、モツゴ、キンブナ、トシヨウ、シマトシヨウ、ホトケトシヨウ、シマヨシホリ、(アメリカザリガニ、カコナ)
st. 89	中村川	95. 8. 2	オカワ、アブラハヤ、タモコ、モツゴ、コイ、フナ属、トシヨウ、シマヨシホリ
st. 90	藤沢川	95. 8. 2	トシヨウ、(アメリカザリガニ、ウツガニ、ツチガエ)
st. 91	藤沢川	95. 8. 2	オカワ、ウグイ、アブラハヤ、キンブナ、キンキヨ、フナ属、トシヨウ、シマトシヨウ、シマヨシホリ、(アメリカザリガニ)
酒匂川水系			
st. 92	玄倉川	96. 1. 24	ニッコウイナ、ヤマメ
st. 93	玄倉川	96. 1. 24	ヤマメ、ウグイ、カジカ
st. 94	玄倉川	96. 1. 24	ヤマメ、ウグイ
st. 95	玄倉川	96. 1. 24	ヤマメ、ウグイ、カジカ
st. 96	玄倉川	96. 1. 24	ヤマメ、オカワ、ウグイ、トウヨシホリ、カジカ
st. 97	土沢	96. 10. 7	ニッコウイナ、ヤマメ、カジカ
st. 98	土沢	96. 10. 7	ヤマメ
st. 99	河内川	96. 10. 28	オカワ、ウグイ、カジカ
st. 100	河内川	96. 10. 28	オカワ、ウグイ、アブラハヤ、カジカ
st. 101	河内川	96. 10. 28	オカワ、ウグイ、カジカ
st. 102	酒匂川	95. 9. 6	アユ、オカワ、ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、フナ属、トウヨシホリ
st. 103	用水路	95. 12. 7	ウグイ、トシヨウ、(カコナ、マシジミ、ツチガエ)
st. 104	用水路	95. 6. 20	オカワ、タモコ、キンブナ、フナ属、シマトシヨウ、ナマス、メダカ、(ウツガニ)
st. 105	用水路	95. 6. 20	オカワ、ウグイ、アブラハヤ、モツゴ、トシヨウ、シマトシヨウ、(イワ)
st. 106	狩川	95. 12. 7	ヤマメ、カジカ
st. 107	狩川	95. 12. 7	ヤマメ、ウグイ、アブラハヤ、カジカ
st. 108	狩川	96. 3. 14	ニジマス、ヤマメ、ウグイ、アブラハヤ、コイ、シマトシヨウ
st. 109	沢入川	96. 3. 14	アブラハヤ、シマトシヨウ
st. 110	狩川	95. 12. 7	ウグイ、アブラハヤ
st. 111	用水路	96. 3. 14	ニジマス、オカワ、タモコ、カマツカ、フナ属、トシヨウ、シマトシヨウ、ナイルテラピア
st. 112	酒匂川	95. 6. 6 ~ 96. 7. 12	ウナギ、アユ、オカワ、ハス、ウグイ、タモコ、カマツカ、コイ、キンブナ、フナ属、シマヨシホリ、トウヨシホリ、ヨシホリ属 ヌマチチブ、ホウスハセ、(テナガエビ、ヒラテナガエビ) (調査日数 3 日間)
st. 113	酒匂川	96. 5. 10	ウナギ、アユ、オカワ、ウグイ、カマツカ、フナ属、メダカ、シマヨシホリ、トウヨシホリ、ヨシホリ属、ヌマチチブ、ホウスハセ、(ヒラテナガエビ)
st. 114	酒匂川	95. 6. 10 96. 5. 10	ウナギ、アユ、ウグイ、オカワ、カマツカ、シマヨシホリ、ヌマチチブ、ホウスハセ、(ヒラテナガエビ、モクスガニ)
st. 115	酒匂川	95. 6. 6	ウナギ、アユ、オカワ、モツゴ、タモコ、カマツカ、フナ属、ホウスハセ科、シマヨシホリ、ヌマチチブ、アソシロハセ
早川水系			
st. 116	早川	95. 6. 16	ウナギ、アユ、オカワ、ウグイ、シマヨシホリ、ヌマチチブ、スミウキコリ、ホウスハセ、(ヒラテナガエビ)
st. 117	支流	95. 6. 16	ウナギ、アユ、ウグイ、アブラハヤ、シマヨシホリ、スミウキコリ、ミミズハセ、ホウスハセ
st. 118	早川	95. 6. 16	ウナギ、アユ、ウグイ、コイ、ホウスハセ科、シマヨシホリ、ウキコリ、スミウキコリ、ヌマチチブ、ホウスハセ (テナガエビ、ヒラテナガエビ、モクスガニ)
白糸川水系			
st. 119	白糸川	96. 7. 18	ウナギ、アユ、ヒメハヤ属、シマヨシホリ、トウヨシホリ、ヨシホリ属、ヌマチチブ、スミウキコリ、ミミズハセ、ホウスハセ (ヒラテナガエビ)
新崎川水系			
st. 120	新崎川	96. 7. 18	ヒメハヤ属、シマヨシホリ、トウヨシホリ、ヨシホリ属、スミウキコリ、ホウスハセ
st. 121	新崎川	96. 7. 18	ウナギ、アユ、ヤマメ、ヒメハヤ属、シマヨシホリ、トウヨシホリ、トウヨシホリ、ヨシホリ属、ヌマチチブ、スミウキコリ、ホウスハセ、(テナガエビ、ヒラテナガエビ)
千歳川水系			
st. 122	千歳川	96. 7. 18	ウナギ、アユ、ホウスハセ科、シマヨシホリ、ヨシホリ属、ヌマチチブ、スミウキコリ、ホウスハセ、(ヒラテナガエビ)

表 2 - 1 神奈川県希少淡水魚生息状況・各水系生息確認魚種

採 集 魚 種	多摩川	鶴見川	大岡川	滑 川	神戸川	境 川	引地川	相模川
ヤツメウナギ科 スナヤツメ	Petromyzontidae <i>Lethentrom reissneri</i>							
ウナギ科 ウナギ	Anguillidae <i>Anguilla japonica</i>							
アユ科 アユ	Plecoglossidae <i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>							
サケ科 ニッコウイワナ イワナ属 ニジマス ヤマメ	Salmonidae <i>Salvelinus leucomaenis f. pluvius</i> <i>Salvelinus sp.</i> <i>Salmo mykiss</i> <i>Oncorhynchus masou masou</i>							
コイ科 カワムツ オイカワ ハス ウグイ アブラハヤ ヒメハヤ属 タモロコ モツゴ カマツカ イトモロコ ニゴイ コイ キンブナ キンブナ キンギョ フナ属 ゼニタナゴ タイリクバラタナゴ	Cyprinidae <i>Zacco temmincki</i> <i>Zacco platypus</i> <i>Opsariichthys uncirostris</i> <i>Leuciscus hakuensis</i> <i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i> <i>Phoxinus sp.</i> <i>Gnathopogon elongatus elongatus</i> <i>Pseudorasbora parva</i> <i>Pseudogobio esocinus</i> <i>Squalidus gracilis gracilis</i> <i>Hemibarbus labeo barbuis</i> <i>Cyprinus carpio</i> <i>Carassius gibelio langsdorfi</i> <i>Carassius carassius subsp.1</i> <i>Carassius sp.</i> <i>Carassius sp.</i> <i>Acheilognathus typus</i> <i>Rhodens ocellatus ocellatus</i>							
ドジョウ科 ドジョウ シマドジョウ ホトケドジョウ	Cobitidae <i>Nisgurnus anguillicaudatus</i> <i>Cobitis biwae</i> <i>Lefua echigonia</i>							
ギギ科 ギバチ	Bagridae <i>Pseudobagrus tokiensis</i>							
アカザ科 アカザ	Amblycipitidae <i>Liobagrus reini</i>							
ナマズ科 ナマズ	Siluridae <i>Silurus asotus</i>							
メダカ科 メダカ	Adrianichthyidae <i>Oryzias latipes</i>							
カダヤシ科 カダヤシ	Poeciliidae <i>Gambusia affinis</i>							
ボラ科 ボラ セスジボラ ボラ科	Mugilidae sp. <i>Mugil cephalus</i> <i>Liza affinis</i> Mugilidae sp.							
スズキ科 スズキ	Percichthyidae <i>Laleolabrax japonicus</i>							
バス科 ブルーギル	Centrarchidae <i>Lepomis macrochinis</i>							
カワスズメ科 ナイルテラピア	Centrarchidae <i>Oreochromis niloticus</i>							
ハゼ科 カワアナゴ シマヨシノボリ オオヨシノボリ ルリヨシノボリ トウヨシノボリ ヨシノボリ属 ヌマチチブ ウキゴリ スミウキゴリ マハゼ アシシロハゼ ミミスハゼ ボウズハゼ	Geobiidae <i>Eleotris oxycephala</i> <i>Rhinogobius sp. CB</i> <i>Rhinogobius sp. LD</i> <i>Rhinogobius sp. CO</i> <i>Rhinogobius sp. OR</i> <i>Rhinogobius sp.</i> <i>Tridentiger kuroiwaie brevispinis</i> <i>Chaenogobius urotaenia</i> <i>Chaenogobius sp. 2</i> <i>Acanthogobius flavimanus</i> <i>Acanthogobius lastipes</i> <i>Luciogobius guttatus</i> <i>Sicyopterus japonicus</i>							
コチ科 コチ	Platycephalidae <i>Platycephalus indicus</i>							
カジカ科 カマキリ カジカ	Cottidae <i>Cottus kazika</i> <i>Cottus pollux</i>							

表 2 - 2 神奈川県希少淡水魚生息状況・各水系生息確認魚種

採 集 魚 種	金目川	中村川	酒匂川	早川	白糸川	新崎川	千歳川
ヤツメウナギ科 スナヤツメ	Petromyzontidae <i>Lethentrom reissneri</i>						
ウナギ科 ウナギ	Anguillidae <i>Anguilla japonica</i>						
アユ科 アユ	Plecoglossidae <i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>						
サケ科 ニッコウイワナ イワナ属 ニジマス ヤマメ	Salmonidae <i>Salvelinus leucomaenis f.pluvius</i> <i>Salvelinus sp.</i> <i>Salmo mykiss</i> <i>Oncorhynchus masou masou</i>						
コイ科 カワムツ オイカワ ハス ウグイ アブラハヤ ヒメハヤ属 タモロコ モツゴ カマツカ イトモロコ ニゴイ コイ キンブナ キンブナ キンギョ フナ属 ゼニタナゴ タイリクバラタナゴ	Cyprinidae <i>Zacco temmincki</i> <i>Zacco platypus</i> <i>Opsariichthys uncirostris</i> <i>Leuciscus hakuensis</i> <i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i> <i>Phoxinus sp.</i> <i>Gnathopogon elongatus elongatus</i> <i>Pseudorasbora parva</i> <i>Pseudogobio esocinus</i> <i>Squalidus gracilis gracilis</i> <i>Hemibarbus labeo barbuis</i> <i>Cyprinus carpio</i> <i>Carassius gibelio langsdorfi</i> <i>Carassius carassius subsp.1</i> <i>Carassius sp.</i> <i>Carassius sp.</i> <i>Acheilognathus typus</i> <i>Rhodens ocellatus ocellatus</i>						
ドジョウ科 ドジョウ シマドジョウ ホトケドジョウ	Cobitidae <i>Nisgurnus anguillicaudatus</i> <i>Cobitis biwae</i> <i>Lefua echigonia</i>						
ギギ科 ギバチ	Bagridae <i>Pseudobagrus tokiensis</i>						
アカザ科 アカザ	Amblycipitidae <i>Liobagrus reini</i>						
ナマズ科 ナマズ	Siluridae <i>Silurus asotus</i>						
メダカ科 メダカ	Adrianiichthyidae <i>Oryzias latipes</i>						
カダヤシ科 カダヤシ	Poeciliidae <i>Gambusia affinis</i>						
ボラ科 ボラ セスジボラ ボラ科	Mugilidae sp. <i>Mugil cephalus</i> <i>Liza affinis</i> Mugilidae sp.						
スズキ科 スズキ	Percichthyidae <i>Laleolabrax japonicus</i>						
バス科 ブルーギル	Centrarchidae <i>Lepomis macrochinis</i>						
カワスズメ科 ナイルテラピア	Centrarchidae <i>Oreochromis niloticus</i>						
ハゼ科 カワアナゴ シマヨシノボリ オオヨシノボリ ルリヨシノボリ トウヨシノボリ ヨシノボリ属 ヌマチチブ ウキゴリ スミウキゴリ マハゼ アシシロハゼ ミミズハゼ ボウズハゼ	Gobiidae <i>Eleotris oxycephala</i> <i>Rhinogobius sp.CB</i> <i>Rhinogobius sp.LD</i> <i>Rhinogobius sp.CO</i> <i>Rhinogobius sp.OR</i> <i>Rhinogobius sp.</i> <i>Tridentiger kuroiuae brevispinis</i> <i>Chaenogobius urotaenia</i> <i>Chaenogobius sp.2</i> <i>Acanthogobius flavimanus</i> <i>Acanthogobius lastipes</i> <i>Luciogobius guttatus</i> <i>Sicyopterus japonicus</i>						
コチ科 コチ	Platycephalidae <i>Platycephalus indicus</i>						
カジカ科 カマキリ カジカ	Cottidae <i>Cottus kazika</i> <i>Cottus pollux</i>						

ウナギ科1種、アユ科1種、コイ科4種、バス科1種、ハゼ科4種の5科11種と甲殻類2種、神戸川水系ではウナギ科1種、アユ科1種、ドジョウ科1種、ボラ科2種、スズキ科1種、ハゼ科1種、コチ科1種の7科8種と甲殻類2種及び軟体動物1種、境川水系では、ウナギ科1種、コイ科7種、ドジョウ科3種、ハゼ科1種、カジカ科1種の5科13種と甲殻類3種、軟体動物1種及び両生類2種、引地川水系では、コイ科3種、ドジョウ科2種、メダカ科1種、カダヤシ科1種、ハゼ科1種の5科8種と甲殻類2種、相模川水系では、ヤツメウナギ科1種、ウナギ科1種、アユ科1種、サケ科2種、コイ科13種、ドジョウ科3種、アカザ科1種、ナマズ科1種、メダカ科1種、バス科1種、ハゼ科6種、カジカ科2種の12科33種と甲殻類5種、軟体動物3種及び両生類3種、金目川水系では、ウナギ科1種、アユ科1種、サケ科2種、コイ科7種、ドジョウ科2種、ナマズ科1種、ボラ科2種、スズキ科1種、ハゼ科7種、カジカ科1種の10科25種と甲殻類3種、軟体動物1種及び両生類1種、中村川水系では、コイ科8種、ドジョウ科3種、ハゼ科1種の3科12種と甲殻類3種、軟体動物1種及び両生類2種、酒匂川水系では、ウナギ科1種、アユ科1種、サケ科3種、コイ科10種、ドジョウ科2種、ナマズ科1種、メダカ科1種、ボラ科1種、カワスズメ科1種、ハゼ科6種、カジカ科1種の11科28種と甲殻類5種、軟体動物2種及び両生類2種、早川水系では、ウナギ科1種、アユ科1種、コイ科5種、ボラ科1種、ハゼ科6種の5科14種と甲殻類3種、白糸川水系では、ウナギ科1種、アユ科1種、コイ科1種、ハゼ科6種の4科9種と甲殻類1種、新崎川水系では、ウナギ科1種、アユ科1種、サケ科1種、コイ科1種、ハゼ科6種の5科10種と甲殻類2種、千歳川水系では、ウナギ科1種、アユ科1種、ボラ科1種、ハゼ科5種の4科8種と甲殻類1種の生息が確認された。

## 考 察

### 採集された希少種の現状

本報告における「希少種」とは、県内の在来淡水魚のうち、当該においてその保護の必要性のある種として位置付け、分布・生態調査や増殖研究を行っている種であり、県レッドデータブック<sup>1)</sup>に掲載されている絶滅危惧種と必ずしも一致しない。図2に本調査で採集された希少種の生態写真を掲載した。

### スナヤツメ *Lethenteron reissneri*

本種は、県のレッドデータブックでは絶滅危惧種である<sup>1)</sup>。本調査では、相模川水系からのみ確認された。道保川の従来の記録は県淡水魚増殖試験場内(現、フィッシングパーク内)だけであった<sup>4)</sup>が、今回新たに3地点において生息が確認された。いずれの生息地も採集個体

数は多く資源的に安定しており、本河川は県下有数の生息地であることが判明した。相模川の河岸段丘沿いの緑地から集まった豊富な湧水が、道保川の自然を育てている。そのため、その水源を含めた広い範囲での流域の保全が必要である。

本種は相模川本流の中流域からも少数が採集された。

境川では最近までごく限られた範囲で生息が確認されていた<sup>6)</sup>が、本調査では採集できなかった。もともと採集個体数が僅かであったので、本水系からの絶滅が懸念される。

### ゼニタナゴ *Acheilognathus typus*

本種は県下から既に絶滅したと考えられていたが、最近になって再発見され<sup>7)</sup>、当场では平成5年度より生息地調査や増殖技術の開発研究を行っている<sup>7-11)</sup>。現在、唯一の生息地である横浜市にある鶴見川水系のため池から、1994年に3尾を採集したが、同年9月以降は全く採集されていない。本種と生態的に競合する外来種のタイリクバラタナゴは、調査を行う度に大量に採集されており、大きな脅威となっている。

### ホトケドジョウ *Lefua echigonia*

本種は、多摩川、鶴見川、大岡川、神戸川、境川、引地川、相模川、金目川、中村川から採集され、他の希少種とは異なり多くの生息地が確認された。しかし、その大半は各水系の支流である細い流れで、水量は少なく、環境が変化しやすい厳しい生息地である。本種は、その生息地によって形態的な変異が大きく<sup>12)</sup>、その保護・増殖は水系別に取り組む必要があり、今後も各水系別に詳細な生息地調査を実施していきたい。

### ギバチ *Pseudobagrus tokiensis*

本調査では唯一、鶴見川上流の東京都側で採集され、県内の河川からは全く採集されなかった。その生息地も非常に狭い範囲である。周辺地域では盛んに河川改修が行われており、本系統群は非常に危険な状態にある。本種の遺伝子保存のために人工増殖技術の開発が急務である。

### アカザ *Liobagrus reinii*

県の実施した丹沢・大山自然環境総合調査で初めて発見された<sup>14)</sup>。本調査でも、相模川水系の支流、数力所から採集された。しかし、その分布範囲が狭く局在し、採集個体数も少ない。本種は生息の確認が遅れたため、県のレッドデータブックには掲載されていない<sup>1)</sup>。しかし、その限られた生息地と採集個体数の少なさから絶滅危惧種に位置づけられる魚種であり、その保全対策について検討を要する。

### メダカ *Oryzias latipes*

引地川、相模川、酒匂川水系から採集された。聞き取りから判断すると引地川と相模川から採集された個体は移入の可能性が高い。最近、メダカを人為的に自然水域



スナヤツメ *Lethenteron reissneri* (相模川水系産)



ゼニタナゴ *Acheilognathus typus* (鶴見川水系産)



ホトケドジョウ *Lefua echigonia* (金目川水系産)



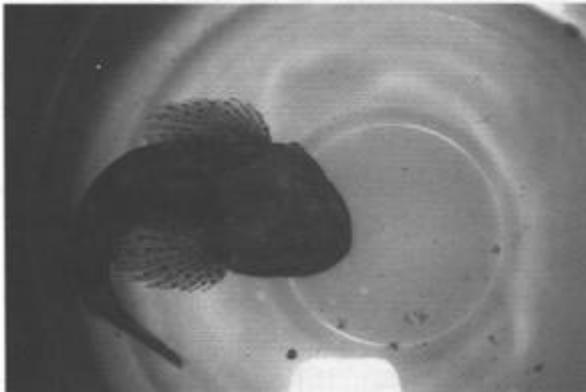
ギバチ *Pseudobagrus tokiensis* (鶴見川水系産)



アカザ *Liobagrus reini* (相模川水系産)



カワアナゴ *Eleotris oxycephala* (相模川水系産)



カマキリ *Cottus kazika* (相模川水系産)



カジカ *Cottus pollux* (酒匂川水系産)

図2 神奈川県希少淡水魚の生態写真

へ放流する人や団体を少なからず見受けるが、その系統について充分配慮が必要である。放流する場合は、放流河川における在来メダカの有無を確認し、当场や県教育センターに必ず相談してもらいたい。系統の異なるメダカを放流することは、長い年月をかけて分化してきた地域レベルでの遺伝子多様性を破壊してしまう。最近、外来魚の無秩序な放流についてはマスコミ等が厳しく糾弾することが多く、県内におけるブルーギルやオオクチバスの放流は内水面漁業調整規則により禁じられた。今後は日本産の魚類においても系統群の異なる魚の放流について、法的な対処も含めて慎重にすべきである。

酒匂川の生息地の用水路は、県内では有数の在来メダカの生息地である。今回の調査時にも多くのメダカの群れが確認され、童謡「メダカの学校」の生まれた地域の貴重なメダカの小川は健在であった。

カワアナゴ *Eleotris oxycephala*

相模川と金目川下流から採集された。相模川では、最近行われた他の調査においても数尾が確認されている<sup>16)</sup>。また、寒川堰下流において毎年行われている相模川漁連の投網大会でもよく見かけ、多い年は十数尾を確認している(著者私信)。他河川における記録が少ないので、相模川の下流域は県下最大の生息地と言えそうである。また、本調査における金目川からの採集はこれが初記録である。

カマキリ *Cottus kazika*

最近の数年間、正式な採集記録がなかったため、県下からの絶滅が懸念されていたが、1995年、酒匂川下流域でアユの友釣りに引っ掛かり<sup>14)</sup>、新聞やテレビで話題となった。本調査では相模川下流から採集されたが、本水系では1987年以降の記録<sup>15)</sup>である。県内の主要河川には、いずれも下流に大きな堰がある。魚道が設置されてはいるが、現状ではカマキリの遡上は困難である。そのため、本種が下流より堰を越えて上流へ遡上できず、生息範囲が狭まってしまったと推察される。今後、河川や堰の管理者に対し、魚道の改善等を働きかけて行きたい。

カジカ *Cottus pollux*

境川、相模川、金目川、酒匂川から採集された。丹沢の渓流域に広く分布する<sup>3,4,13)</sup>他、最近では相模川本流でも採集されている<sup>16,17)</sup>。境川の生息地は極めて狭い範囲で限定されている<sup>4)</sup>が、現在のところ周辺地域の大きな開発もなく、資源的にもある程度安定しているようだ。

本種は丹沢山塊の渓流域では指標種として注目されており<sup>14)</sup>、今後も砂防ダムの建設や護岸工事等への環境評価の重要なパラメータとして、その資源動態に注目して行きたい。

## 摘 要

1) 1994年～1996年において、多摩川、鶴見川、大岡川、

滑川、神戸川、境川、引地川、相模川、金目川、中村川、酒匂川、早川、白糸川、新崎川、千歳川の15水系123地点において魚類採集調査を実施した。

- 2) 県下全体でヤツメウナギ科1種、ウナギ科1種、アユ科1種、サケ科1種、コイ科16種、ドジョウ科3種、ギギ科1種、アカザ科1種、ナマズ科1種、メダカ科1種、カダヤシ科1種、ボラ科2種、スズキ科1種、バス科1種、カワスズメ科1種、ハゼ科12種、コチ科1種、カジカ科2種の18科50種の魚類の生息を確認した(種数には亜種及び型等も含む)。
- 3) 相模川水系の支流、道保川において新たな生息地を数箇所発見し、本河川はスナヤツメの県下有数の生息地であることが判明した。
- 4) 相模川において、1987年以降、記録のなかったカマキリ(アユカケ)の生息を確認した。
- 5) 相模川水系で新たな生息河川2支流を含む3河川においてアカザの生息を確認した。

## 謝 辞

魚類採集及び標本の整理に御協力頂いた、当時の相沢康技師と小山忠幸技能技師、県環境科学センターの斉藤和久主任研究員、日本大学農獣医学部水産学科学生の杉野潤氏、故下枝康二氏、吉島徹氏、永石貴臣氏、石垣洋一氏、東海大学海洋学部の荒尾一樹氏並びに水産大学の松原創氏、相模湾海洋生物研究会の木村喜芳氏並びに碓井昭司氏をはじめとするトラウトフォーラム神奈川支部の皆様へ感謝します。また、本調査に快く御同意され、情報提供にも御協力いただいた川崎河川、酒匂川、早川河川、湯河原観光の各漁業協同組合の皆様、および相模川漁業協同組合連合会の皆様へ深謝します。

## 文 献

- 1) 神奈川県レッドデータ生物調査団(1995), 神奈川県レッドデータ生物調査報告書, 神奈川県立博物館調査研究報告 自然科学 7, 257pp.
- 2) 勝呂尚之・中田尚宏(1995), 丹沢山塊における渓流魚の分布 - , 神奈川県淡水魚増殖試験場報告, 31, 67～74
- 3) 勝呂尚之・中田尚宏(1996), 丹沢山塊における渓流魚の分布 - , 神奈川県淡水魚増殖試験場報告, 32, 37～60.
- 4) 勝呂尚之・安藤隆(1996), 相模川支流の魚類相 - , 神奈川県淡水魚増殖試験場報告, 32, 61～67.
- 5) 中坊徹次編(1993), 日本産魚類検索 - 全種の同定 - , 東海大学出版会, 東京, xxxiv + 1474pp.
- 6) 勝呂尚之・中田尚宏(1994), 境川上流域の魚類相について, 神奈川県淡水魚増殖試験場報告, 30, 37～46.
- 7) 勝呂尚之・(1995), 横浜市におけるゼニタナゴの生

- 息, 神奈川県淡水魚増殖試験場報告, 31, 60~64.
- 8) 神奈川県淡水魚増殖試験場(1995), 水産庁委託 平成5年度希少水生生物保存対策試験事業報告書, 19pp.
- 9) 神奈川県淡水魚増殖試験場(1996), 水産庁委託 平成5年度希少水生生物保存対策試験事業報告書, 21pp.
- 10) 神奈川県水産総合研究所内水面試験場(1997), 水産庁委託 平成7年度希少水生生物保存対策試験事業報告書, 22pp.
- 11) 神奈川県水産総合研究所内水面試験場(1998), 水産庁委託 平成8年度希少水生生物保存対策試験事業報告書, 25pp.
- 12) 藤田光・大川健次(1975), 日本産ホトケドジョウの地理的変異について(予報), 魚類学雑誌, 22, (3), 179~182.
- 13) 相模湾海洋生物研究会(1997), 淡水魚からみた丹沢の沢, 丹沢大山自然環境総合調査報告書, (財)神奈川県公園協会・丹沢大山自然環境総合調査団企画委員会編集, 500~529.
- 14) 勝呂尚之(1996), 酒匂川で採集されたカマキリ(アユカケ)について, 神奈川自然誌資料, 17, 45~48.
- 15) 浜口哲一・長峯嘉之(1987), 相模川中下流域魚類相への追加と訂正, 平塚市博物館研究報告, 自然と文化, 10, 1~8.
- 16) 神奈川県淡水魚増殖試験場(1995), 平成6年度相模川水系魚類生息状況調査報告書, 82pp.
- 17) 神奈川県淡水魚増殖試験場(1996), 平成7年度相模川水系魚類生息状況調査報告書, 115pp.